

ワークショップのご案内

2017年2月24日

公共性研究ワークショップ（運営メンバー：中村(隆)・高嶋・永山）のご案内です。今回は、多様な意味を持った「公共性」という概念を、都市空間と住宅問題との関連性を通じて、明らかにしていこうとする研究について、お話を聞き、議論したいと思います。興味・関心のある方々、奮ってご参加ください。よろしくお願いいたします。

タイトル：『栄光の30年』のパリとその郊外を展望する —都市空間と住宅問題—

« Un regard historique sur Paris et sa banlieue aux ‘Trente glorieuses’ : espace urbain et problèmes de logement »

発表者：中野隆生氏(学習院大学文学部教授)

日時：2017年3月13日(月) 17:00~19:00

場所：青山学院大学 経済学会・経済研究所プレゼンルーム(8号館6階)

<概要>

数年にわたる共同研究の成果である『20世紀の都市と住宅 ヨーロッパと日本』（2015年刊）には、フランスの首都パリの居住空間を扱った3本の論考がおさめられていた。ところが、3論考が相互にどう関連するのかは論じられず、今後の課題として残されることになった。この課題にこたえることは、やがて、パリとその郊外の20世紀を展望することへつながるであろう。そのように意識しながら、本報告では、高度経済成長期（「栄光の30年」）のパリとその郊外に即して、都市空間、居住空間の展開を検討していく。まず、第2次世界大戦直後の様々な問題群を踏まえつつ都市や住宅の実態を把握し、また「再開発」・「開発」を許容する都市像（都市観）の出現を確定しよう。次いで、都市の「再開発」・「開発」、都市計画の法制度、スラムの消滅、等々、「栄光の30年間」に生じた社会的諸現象を総合的にとらえ返そう。そしてさらには、高度経済成長期に変貌したパリとその郊外の都市空間や居住空間が、どのように後代へと受け継がれていくのか、考えてみたいのである。

+++++

ワークショップ後、報告者とともにささやかな懇親会を開催する予定です。ご参加の方は、永山のどか(nodoka@mbj.ocn.ne.jp)までご連絡ください。

お問い合わせ先

青山学院大学経済学部 中村隆之：t51044@aoyamagakuin.jp